



平成21年3月2日

第4号

宮城教育大学ESD・RCE推進会議から、学内外のESD・RCEの取り組みやニュースをお知らせします。

これまでのESD関連事業報告

1. 国際協カイニシアティブセミナー(1月28日・水)

青年海外協力隊派遣現職教員の海外教育経験の活用・「魅力ある授業づくり」と題し、仙台国際センターで開催、午前中は、仙台市立立町小学校4年生2クラスを招き、堤佑子先生と本学留学生による「食」をテーマとした国際理解教育に関する授業、鹿野仁子先生による青年海外協力隊経験を活用した地域社会に関する授業を行い、父兄達にも公開しました。

また、ポスターセッション、文部科学省・JICA・大妻女子大教授による特別講演、パネルディスカッション、及び専門家会議と、充実したセミナーになりました。



2. ラムサールフェスティバル2009(1月30日・金~31日・土)

仙台広域圏RCEの地域の1つである大崎市田尻地域で、ラムサールフェスティバル2009を開催、『ラムサール・トライアングルの賢明なる利用を考える』と題し、ラムサール条約湿地「化女沼」「蕪栗沼・周辺水田」「伊豆沼・内沼」の関係市長(栗原市・登米市・大崎市)の鼎談があり、渡り鳥に選ばれた地域を3地域共通の財産にすることなど話し合われました。

翌朝みぞれ交じりのなか、化女沼のヒシクイ・マガンが頭上を飛びたつ風景も大変見応えのあるものでした。(凍える手での撮影でしたので、鮮明な画像でお伝えできないのが残念です)



3. みやぎ環境学習パートナーシップ推進事業（2月7日・土）

『学びのつどい なちゅられ！2009』と題した標記受託事業（宮城県）は、今年度はじめて本学の「環境教育ライブラリーえるふえ」が企画運営を担当しました。

アンケート・クイズ記入者へのエコグッズ（エコバック・タンブラーなど）が大好評で、準備した記入用紙が無くなるほどの盛況でした。（入場者 約300名）

プログラム（ところ：せんだいメディアテーク1F）

12:30 開場（体験コーナー、参加型コーナー）

13:30 基調講演 飯島博氏（特定非営利活動法人アサザ基金代表理事）

15:00 質疑応答 15:30 ステージ発表 16:30 閉会



会場風景



エコまる君



えるふえ貸し出し教材

4. 第2回アジアRCE若者会議（2月9・10日）・国内RCE担当者会議（11日）

宮城教育大学が事務局を担当している仙台広域圏ESD・RCE運営委員会主催の第2回アジアRCE若者会議を開催しました。

RCEペナン・RCEデリー・RCE統営と、国内RCE6カ所から大学生と国内RCE担当者が仙台に集まり「持続可能な社会へ～今若者にできること」と題し、仙台市市民活動サポートセンターと本学で活動発表やワークショップを行いました。（エクスカージョンは大崎市田尻地域視察）次回はマレーシア（RCEペナン）で開催予定です。

11日（水）は国内RCE担当者会議が開催され、国内外の国際会議等の情報を共有しました。



若者会議 1日目



若者会議 2日目（210番教室）

5. ESD / ユネスコ・スクール国際フォーラム in Kesennuma (2月21日・土)

仙台広域圏RCEの地域の1つである気仙沼地域では、気仙沼ESD/RCE推進委員会、気仙沼市、気仙沼市教育委員会、ACCU主催で「ACCU国際教育交流事業の学者・専門家招へいプロジェクト」の標記フォーラムを開催しました。

ユネスコ・スクールとRCEの2つのグローバルネットワークを通して日本、中国、韓国が連携してESDを推進する「東アジアESDネットワーク」の構築を模索するため、国内外より関心の高い気仙沼地域からの情報発信は、かなりインパクトのあるものとなりました。

6. ESD国際シンポジウム(2月22日・日~23日・月)

22日(日) 公開シンポジウム

ユネスコ国内委員会会長の基調講演や、アイセック・ジャパンの学生達に混じり、ユネスコ・スクール申請検討中の中学生、白石、気仙沼、大崎市田尻のRCE関係者が多数出席し、国連大学より我が国の国際協力の上からも、RCEの貢献が期待されているとの挨拶がありました。

23日(月) 専門家会議

海外招へいのベリーズ・ネパールを対象としたESD展開の可能性と具体的な内容の検討や、今回、参加できなかったマダガスカルについても議論を深めることができました。



22日 公開シンポジウム



23日 専門家会議

. 今後のESD関連事業

- 3月10日 「国際協イニシアティブ」第2回国内報告会(港区・三田共用会議所)
- 3月24日~26日 第12回ユネスコAPEID国際会議(タイ・バンコク)
- 3月31日~4月2日 ESD世界会合(ドイツ・ボン)